

三キテイ×HAP

ワークショップ ～もうひとつのことば～

「大人のための芸術鑑賞“ひかりアートサロン”」6月は特別編としてゲストにアーティストの古川実季さんをお迎えして、ワークショップ「もうひとつのことば」を開催します。

日時 **6月19日(木)**
午前10～12時

場所 **ひかりプラザ**
2階203号室

定員 10人

参加費 1,000円

主催 ひかりARTプロジェクト

申し込み 6月15日(日)まで
こちらからお申し込みください。



ペアになって、布越しに向かい合い、
同じ針と糸で互いのシルエットを交互
に縫い合うことで、発話以外での
コミュニケーションのあり方を探ります。

相手のシ
ルエットをひと
縫いで...

相手に糸を
渡します！



@soma_camera

古川実季 (Miki Furukawa)

1998年 熊本県生まれ。2024年 東京藝術大学 美術研究科 先端芸術表現専攻修了。
2022年にメキシコ・エクアドルに留学し、織物芸術や多様なコミュニケーションのあり
方について学ぶ。2021-2024年 東京都美術館アート・コミュニケータとして活動。
現在は東京藝術大学の特任助手として「ケア×アート」をテーマに「多様な人々が
共生できる社会」を支える人材を育成するプロジェクト「DOOR」に関わる。主な制
作活動として、糸を介して異なる言語を持つ他者との対話を試みる《もうひとつのことば》
など。

ひかりARTプロジェクト (HAP)

2024年6月に光公民館でスタートしました。おしゃべりをしながらさまざまな作品を
鑑賞しています。「子どもたちに本物のアート体験」「アートを介した居心地の良い
継続的な場」を目指して、国分寺市光公民館を拠点に活動。メンバーはとびらプロ
ジェクトを任期満了したアートコミュニケータや、光公民館で開催された「あそび
じゅつ」招聘企画の地域住民による元運営者で構成されています。



©mayumi noguchi